

上田市公共施設マネジメント基本方針【素案】 前回案における主な意見と修正点

1 前回（第3回）委員会での意見等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
3	市町村合併によって施設が多いという文言を目的に入れた方が良い。	2	第1節 策定の目的 最初の段落を修正しました。
14	直営の基準を明らかにできないか。		過去の経緯や現状の課題など、施設ごとに事情が異なるため、ある一定の基準によって、ということは困難であると考えます。
13	コンパクトシティという考え方、小さな拠点の確保とこれらをネットワークでつなげる必要性について、分かりやすくアピールした方がいい。ネットワークも公共交通機関とか具体的に表記したらどうか。	18	4の にコンパクトシティの考え方と、小さな拠点とネットワークについて記載しました。ネットワークについては、公共交通機関のほか、道路網や情報網など多岐にわたるため、基本方針の中では「ネットワーク」という表現にしたいと考えます。
15	「国県をはじめとする他機関」は大切	18	4の で、役割分担と広域連携について記載しました。

2 会議後の郵送・FAX・電子メールなどによる意見、事務局修正等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
			下記のほか、誤字・脱字、簡易な修正等については、全体的にご指摘をいただいた箇所について修正しました。
		4-5	施設白書よりグラフと表を転記しました。
		6	公共施設等総合管理計画との関係について記載を追加しました。
		9	年齢構成別の人口推移について記載を追加しました。
		12	維持管理費の推移について記載を追加しました。
		18-22	基本方針を5原則とし、全体を修正しました。
17	市税が減少傾向にあって、地方債が増加傾向にあり、危機的財務状況にある。 全職員を対象に研修を行うとあるが、誰に、いつ、的確な研修を実施できるのか。 また、意識改革とあるが、最初に全職員に現在の危機的状況を認識し、意識改革を行うことが必要では。 PPPやPFIといった管理手法を使いこなすには、市職員が民間企業レベルより更に上の知識がないと、民間企業の言いなりになってしまう。	23	職員研修について、当市が置かれている厳しい状況の周知、情報共有、専門知識の体得など、より具体的に記載しました。
		27	インフラの基本方針について記載を追加しました。

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
	<p>利用状況の公平な評価基準が必要。既に建設済みの新しい公共施設への取り組みが今後の公共施設のあり方の指針になる。 新しい施設はそれだけで利用率が上がるので、単年ではなく長期的に見た費用対効果を意識していけるような仕組みが欲しい。必要性が見えるような評価基準を考えていくことが必要。</p>	20	<p>過去の経緯や現状の課題など、施設ごとに事情が異なるため、ある一定の基準によって、ということは困難であると考えます。今後の公共施設マネジメントの取り組みにあたっては、個々の施設ごとに、様々な要素を加味した上で、総合的に検討してまいりたいと考えます。</p> <p>長期的に見た費用対効果については、2の と に「中長期で」と追記しました。</p>
		29-35	<p>本編中の注釈を整理し、資料編の用語解説としてまとめました。</p>

上田市公共施設マネジメント基本方針【素案】 前回案における主な意見と修正点

1 前回（第3回）委員会での意見等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
3	市町村合併によって施設が多いという文言を目的に入れた方がよい。	2	第1節 策定の目的 最初の段落を修正しました。
14	直営の基準を明らかにできないか。	27	基本方針の中で基準を定めることは困難であるため、用語解説の「公共施設のあり方の見直し」の説明文に考え方を記載しました。
13	コンパクトシティという考え方、小さな拠点の確保とこれらをネットワークでつなげる必要性について、分かりやすくアピールした方がいい。ネットワークも公共交通機関とか具体的に表記したらどうか。	18	4の にコンパクトシティの考え方と、小さな拠点とネットワークについて記載しました。ネットワークについては、公共交通機関のほか、道路網や情報網など多岐にわたるため、基本方針としては単に「ネットワーク」としたいと考えます。
15	「国県をはじめとする他機関」は大切	18	4の で、役割分担と広域連携について記載しました。

2 会議後の郵送・FAX・電子メールなどによる意見、事務局修正等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
			下記のほか、誤字・脱字、簡易な修正等については、全体的にご指摘をいただいた箇所について修正しました。
		4-5	施設白書よりグラフと表を転記しました。
		6	公共施設等総合管理計画との関係について記載を追加しました。
		9	年齢構成別の人口推移について記載を追加しました。
		12	維持管理費の推移について記載を追加しました。
		18-22	基本方針を5原則とし、全体を修正しました。
17	市税が減少傾向にあって、地方債が増加傾向にあり、危機的財務状況にある。 全職員を対象に研修を行うとあるが、誰に、いつ、的確な研修を実施できるのか。 また、意識改革とあるが、最初に全職員に現在の危機的状況を認識し、意識改革を行うことが必要では。 PPPやPFIといった管理手法を使いこなすには、市職員が民間企業レベルより更に上の知識がないと、民間企業の言いなりになってしまう。	23	職員研修について、当市が置かれている厳しい状況の周知、情報共有、専門知識の体得など、より具体的に記載しました。
		27	インフラの基本方針について記載を追加しました。

	<p>利用状況の公平な評価基準が必要。既に建設済みの新しい公共施設への取り組みが今後の公共施設のあり方の指針になる。新しい施設はそれだけで利用率が上がるので、単年ではなく長期的に見た費用対効果を意識していけるような仕組みが欲しい。必要性が見えるような評価基準を考えていくことが必要。</p>	<p>31</p>	<p>基本方針の中に基準を記載することは困難であるため、用語解説の「公共施設のあり方の見直し」の説明文に考え方を記載しました。公共施設マネジメントの取り組みについては、個々の施設ごとに、例示した以外にも様々な要素を検討してまいりたいと考えます。</p>
		<p>20</p>	<p>長期的に見た費用対効果については、2の と に「中長期で」と追記しました。</p>
		<p>29-35</p>	<p>本編中の注釈を整理し、資料編の用語解説としてまとめました。</p>

第三次上田市行財政改革大綱 【素案】 前回案における主な意見と修正点

1 前回（第3回）委員会での意見等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
目次	目次の記載と該当ページの見出しが整合していない箇所がある。 P15・(4)「行政課題に速やかに対応できる組織作りと人材育成」 P18・(1)「新たな行政サービス確立に向けた改革」 P18・(2)「多様な市政参加と連携に向けた改革」	目次	該当ページの見出しに合わせ、目次の記載内容を修正しました。 P15・(4)「行政課題に速やかに対応できる組織づくりと人材育成」 P18・(1)「新たな行政サービスの確立に向けた改革」 P18・(2)「多様な主体の市政参加と連携に向けた改革」
1・2	「これまでの行財政改革の主な歩み（経緯）」の表中の記載全体に句点（「。」）がない。	1・2	表中の記載全体に句点を挿入しました。
5	イ(イ) 2行目 「あらゆる主体～」という表現が分かりづらい（ほかに適当な表現はないのか）。	5	イ(イ)の記載について、「あらゆる主体」という表現を削除するとともに、広域連携に関する記載を追加し、分かりやすく表記しました。
5	イ(ウ) 2行目～ 「雇用の創出や若者世代の結婚・出産～」とあるが、40代の独身者も多いので、表現を検討したらどうか。	5	イ(ウ) 2行目～ 「若者や女性が活躍できる環境整備による就業機会の拡大や、結婚支援からきめ細やかな出産～」という表現に修正しました。
5・15	女性が輝ける社会の創出ということに関連して、女性の活躍・登用などの表現を入れたらどうか。	15	(4)ウ 6行目 「職員がいきいきと力を発揮できる職場環境の～」を 「性別にとらわれず職員がいきいきと能力を発揮できる職場環境～」という表現に修正しました。
6	グラフ下段「合計特殊出生率」の注釈は、5ページ下段に移した方が分かりやすい。	5	グラフ下段「合計特殊出生率」の注釈を、5ページ下段に移動し、注釈を「_1 合計特殊出生率」「_2 定住自立圏」に修正しました。
15	(4)ア 下段の「PFI」の注釈で、「Public Finance Initiative」の「P」は「Private」ではないか。	15	「Public Finance Initiative」を、「Private Finance Initiative」に修正しました。
18	3(2) 1行目 「多様な主体～」という表現が分かりづらい（ほかに適当な表現はないのか）。 また、2行目にも「主体的に活動できる～」という表現があり、紛らわしい。	18	3(2) 1行目 「多様な主体」を「様々な人や組織による」という表現に修正しました。 本文を「市民や企業、各種団体、学校など、様々な人や組織が行政と連携・協力し、市政の充実が図られる環境づくりや、民間活力の導入拡大に向けた取り組みを進めます。」に修正しました。
18	3(2) 2行目 「連携・協力」の記載は「連携・協働」の方が良いのではないか。	18	第二次上田市総合計画では、「協働」の定義を「様々な人や組織が（中略）対等な立場で役割分担を行いながら協力し、主体的に活動すること」としており、総合計画の本文中においても、「連携・協力」という表現を使用しているため、修正なしとさせていただきます。

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
18	4「大綱の位置付け」の本文が分かりづらい。	18	4「大綱の位置付け」の本文を全体的に修正しました。
19	(1)「住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革」の説明文が分かりづらい(2行目「サービスの方法に係る見直し～」)。3行目「～をまとめます。」に違和感がある。	19	(1)「住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
19	(1)ア「移住・定住・交流人口を増やす体制の確立」本文2行目「仕組みづくり」の表現が分かりづらい。	19	(1)ア 本文2行目の表現について修正し、広域連携に関する記載を追加しました。
19	(1)イ「民間活力の導入促進」本文3～4行目「しっかりと見極め～」の「しっかりと」は不要ではないか。	19	(1)イ 本文3～4行目「しっかりと見極め～」の「しっかりと」を削除しました。
20	(2)「支える財政基盤の改革」の説明文 3行目「～をまとめます。」の表現に違和感がある。	20	(2)「支える財政基盤の改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
20	(2)ア「歳入の確保」本文3行目～「ふるさと納税を始めとした自主財源の確保～」について、ふるさと納税のほかに自主財源を例示できないか。	20	(2)ア「歳入の確保」本文3行目～例示を増やし、「企業誘致による財政基盤の強化、広告掲載事業やふるさと納税の推進など、自主財源の確保～」に修正しました。
20	(2)ウ「市有財産の適切な管理と利活用」本文が全体的に難しく、分かりづらい。	20	(2)ウ「市有財産の適切な管理と利活用」本文を全体的に修正しました。
20	(2)エ「受益と負担のあり方の見直し」本文3行目「受益と負担の適正化～」を「受益と公平な負担の適正化～」にしたらどうか。	20	(2)エ「受益と負担のあり方の見直し」本文3行目「受益と負担の適正化～」を「受益と公平な負担の適正化～」に修正しました。
21	(3)「市民満足度を向上させる人・組織の改革」の説明文が分かりづらい(2行目「行政と地域の仕組みに係る改革～」)。2行目「～をまとめます。」に違和感がある。	21	(3)「市民満足度を向上させる人・組織の改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
21	(3)ア「行政組織の見直し」本文3行目「効果的かつ効率的な～」 (3)ウ「行政評価の仕組み整備」本文1行目「効率的かつ効果的な～」 表現の統一または、ほかに適当な表現はないか。	21	(3)ア「行政組織の見直し」については、本文全体を見直し、修正しました。 (3)ウ「行政評価の仕組み整備」本文1行目「効果的かつ効率的な～」に修正しました。
21	(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文2～3行目「全体の奉仕者」の表現は、かなり使い古された言葉であり、ここで記載するのはふさわしくない。	21	(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文2～3行目『「全体の奉仕者」として～』を『上田市人材育成基本計画に掲げる「市民第一主義」の考えを基本に、市民の立場に立って～』という表現に修正しました。
22	6(2)ウ「チェック体制」(1)の本文「市民の代表」という表現がどのような人を指しているのかが分かりづらく、受け取り方によっては誤解を招きやすい。	22	6(2)ウ「チェック体制」(1)の本文を削除し、6(2)「大綱の推進体制」の冒頭に説明文を追加し、下段「上田市行財政改革の推進体制」の図についても修正しました。

2 会議後の郵送・FAX・電子メールなどによる意見等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
			誤字・脱字ほか、簡易な修正等については、全体的にご指摘をいただいた箇所について修正しました。
18	<p>3(2)「多様な主体の市政参加と連携に向けた改革」本文 総合計画に盛り込まれた自助・共助・公助の理念からすると、現在の表記では受け身な感じがする。 【修正案】 「市民や企業、各種団体、学校など、多様な主体が行政と連携、協力し、市政の充実が望めるような環境づくり、民間活力導入拡大に向けた取り組みを進めます。」</p>	18	<p>3(2)「多様な主体の市政参加と連携に向けた改革」本文 「市民や企業、各種団体、学校など、様々な人や組織が行政と連携・協力し、市政の充実が図られる環境づくりや、民間活力の導入拡大に向けた取り組みを進めます。」に修正しました。</p>
21	<p>(3)ア「行政組織の見直し」見出し 組織変更では再編に時間がかかり、新たな行政需要への対応は難しい上、市民ニーズは流動的で持続しないことが多いと思う。「組織の見直し」より「組織の柔軟な運用」もしくは「組織内の連携」が望ましいと思う。また、現状でも効率重視で細分化しすぎ、問題点や改善点が分かりにくくなっている印象を受ける。</p>	21	<p>(3)ア「行政組織の見直し」見出し 行政組織については、組織内の連携はもとより、柔軟性等も含め、見出しは、総合的な意味合いで「行政組織の見直し」という表現にしたいと考えます。</p>
21	<p>(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文 行政職の存在意義が職員にも市民にも見えにくくなっていることが問題だと思う。その意味で「全体の奉仕者」という言葉は重要だと思う。使い古された言葉でも、公務員が個人の利益ではなく、全体の利益を将来にわたって考えるプロという意識が重要だと思う。 「市民の目線」という言葉は、職員同士で使う言葉で、市民に向けて発信すると誤解を招く表現だと思う。</p>	21	<p>(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文 「全体の奉仕者」という表現については、考え方やイメージも様々であることから、『「全体の奉仕者」として～』を『上田市人材育成基本計画に掲げる「市民第一主義」の考えを基本に、市民の立場に立って～』という表現に修正し、「市民の目線」という言葉は削除しました。</p>
関連ページ 7～10 15	<p>市税が減少傾向にあって、地方債が増加傾向にあり、危機的財務状況にある。</p> <p>上田市の職員の人事は、3～4年で異動になり何でも例年並み（の考え方）で、本腰を入れて新しいことや改革を行おうという人材は非常に少ない（と思う）。また、その程度の期間では、専門的知識は体得できない。PPPやPFIといった管理手法を使いこなすには、市職員が民間企業レベルより更に上の知識がなければ、ただただ民間企業の言いなりになってしまうだけ、「大綱」の推進期間である最低5年間は同じ職場に留まるべきだと考える。</p>		<p>貴重なご意見として、今後の市政や行財政改革において参考にさせていただきます。</p>
23	<p>アクションプログラム策定後のPDCAマネジメントサイクルは、往々にしてPDのみで、CAが形式的になり、サイクルが回らないことが多いので、CAに特段の力を注いで、サイクルを何回も回していただきたい。</p>		